

りゅうおう

議会だより

No.196
2021年8月1日
滋賀県竜王町議会

私たちの未来を
よろしく

- | | | |
|-------|-----|-------------|
| 定例会報告 | P2～ | ワクチン接種状況は |
| 委員会報告 | P4～ | ボルダリング施設整備は |
| 一般質問 | P7～ | 通学路の安全対策は |
| シリーズ | P16 | 私たちONE TEAM |

補正予算

一般会計（第33号）

1億5957万円を増額

※金額は千円以下切り捨て

歳出の主な内容

▶ 新型コロナワクチン接種事業	1937万円
▶ 子育て世帯生活支援特別給付金	1330万円
▶ 地方創生テレワーク交付金	1億円
▶ 飲食店応援事業	1961万円
▶ 認定こども園への移行準備経費	218万円
▶ 自主防災組織強化施設整備事業等補助金	300万円

歳入の主な内容

▶ 新型コロナワクチン接種対策費国庫負担金	989万円
▶ 子育て世帯生活支援特別給付金	1330万円
▶ 地方創生テレワーク交付金（国補助金）	5000万円

新型コロナワクチン接種状況

高齢者

接種者数（7月14日時点）

1回目接種者数	3,249人
2回目接種者数	2,973人

※接種対象者数（令和3年4月
接種券発送時点） 3,531人

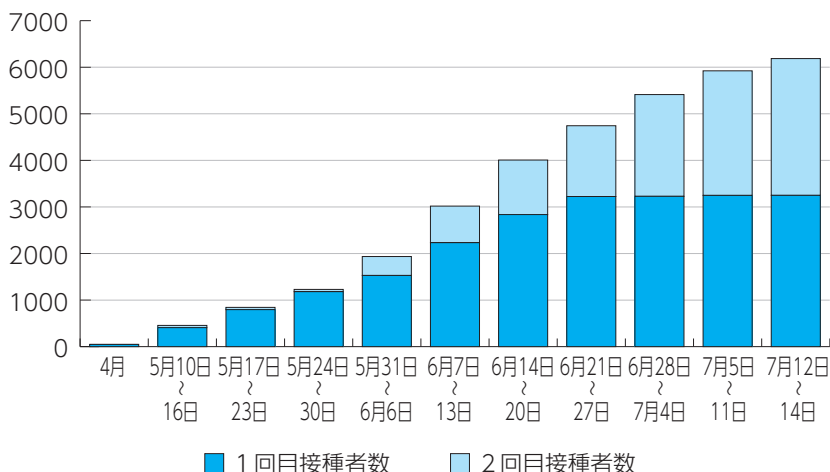
町民全体

接種者数（7月14日時点）

1回目接種者数	4,527人
2回目接種者数	3,190人

※接種対象者数（接種券発送）
10,796人

高齢者のワクチン接種者数の推移（累計）

6月定例会の
あらまし

6月定例会が6月3日から23日までの21日間の会期で開催されました。条例関係4件、一般会計補正予算1件、人事案件1件、動産の取得1件、工事請負契約の締結1件が上程され、全員賛成で可決・承認しました。

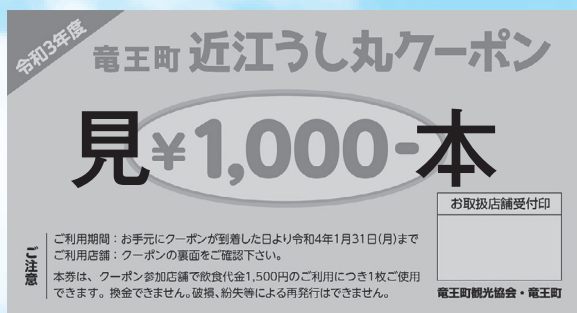
補正予算の主なものは新型コロナワクチン関連・子育て世帯生活支援・飲食店応援事業・地方創生テレワーク交付金で、予算決算常任委員会・全員協議会を通じて審査を行いました。

主な質疑応答

飲食店応援事業

問 昨年の第一弾は800万円分のクーポンを配布し、使用されたのは約3割の240万円分であった。今後、使用率を上げるための取組は。

答 前回は広報の折り込み配布であったため、気づかれず使用されない例もあった。今回は全戸に封書で郵送する予定をしている。今後は執行率を見て対策を考える。



飲食店応援事業に使用されるクーポン

チョイソコリゅうおうの利用状況について

問 竜王町の交通の便を良くしてほしいという町民の声がある。課題をどう整理しているのか。

答 短期的な課題としては会員獲得や利用促進が挙げられ、乗車環境の改善や制度の周知に努めている。運行時間や運行範囲については、公共交通事業者との兼ね合いもあり中長期的な課題として取組む。

有線放送電話設備撤去事業

問 電話機とスピーカーの回収率が40%だが、回収時間が朝早かったという声もある。

答 回収コンテナは前日に配付し、当日8時30分から回収した。自治会によっては早い時間になったかもしれない。6月下旬に2回目の回収があり、回収率向上のため周知徹底したい。

今定例会で追加提案された事業

竜王町版シティプロモーションの実施

竜王町での暮らしの魅力を多様なツールを活用して発信する事業。まずは町の若手職員で構成するワーキンググループでまちの魅力を掘り起こし、シティプロモーションのターゲットやコンセプトに関する意見を聴くなどして、ガイドラインを策定する。令和3年度末からガイドラインをもとに、自治体PR動画やSNSなどによるプロモーションを展開していく。



地方創生テレワーク交付金事業

鏡地先のアインズ株式会社にある旧単身赴任寮等を改修し、竜王町で事業展開したい事業者に「※サテライトオフィス」として貸し出すために、施設の整備または開設を行うための補助金を交付する。また、当該施設へ入居する町外企業に対し補助金を交付する。

※本社から離れた場所に設置されるオフィス



▲現状



▲完成イメージ

総務産業建設常任委員会



日野川河川改修の進捗状況と今後の改修計画について

◆日野川河川改修のこれまでの経過

平成2年の台風19号で、下流部での護岸欠損や堤防からの漏水などが発生。
平成6年にかけて河口から約2.8kmの区間の護岸整備などが実施された。



平成8年、河口から日野町の出雲川合流点までの約25kmについて全体計画を策定。
このうち西横関地先の善光寺川合流点までが事業区間として採択され、河川整備が始まる。



平成22年に策定された河川整備計画では、近江八幡市野村町の大畑橋付近から善光寺川合流点までの6.6kmの区間を整備実施区間とし、戦後最大の洪水規模の大雨（50年確率）を想定し改修することとなった。

◆現在

20年に1度の大雨（20年確率）を想定し、JR琵琶湖線の下流付近で工事が行われている。

◆今後の計画

平成25年台風18号による被害、特に平成29年台風21号では新川周辺で大きな浸水被害が発生したため、令和元年度の日野川改修期成同盟会総会において、整備実施区間の上流への延伸が全会一致で確認された。



大きく蛇行している弓削地先付近の中流部

県は、河川整備計画の変更を行うため、河道概略検討等を実施し、今後は、蛇行区間を含む中流部の河川整備計画の変更手続に必要な河道予備設計や環境調査に着手する予定。

主な質疑応答

問 日野川の流下能力はどう変わるのか。

答 中流部での流下能力が特に低いため、治水効果を早期に発現させるため、まずは20年確率（1,360m³/s）の断面確保を行い、その後に50年確率での改修を行う「段階的な整備」を基本としている。大きな河川を除き県内の他の同水準河川では10年確率で整備されているので、日野川は非常に高いレベルで整備が計画されている。

総務産業建設常任委員会



総合運動公園整備の進捗状況について

1 進捗状況

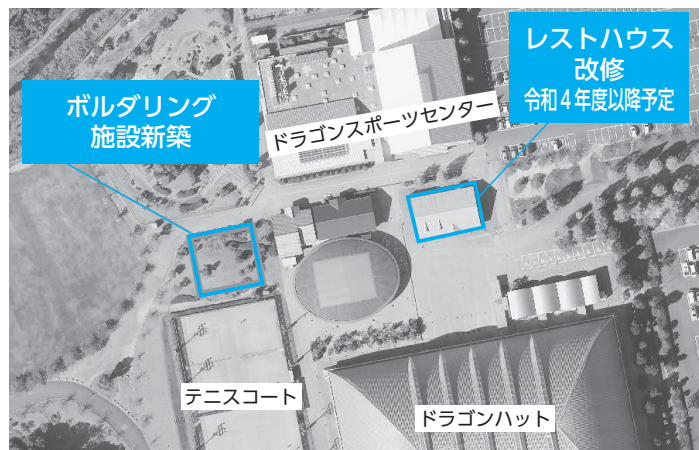
- (1) 総合運動公園ボルダリング施設新築工事設計監理業務（4月22日契約）
・ 契約額 381万7000円（国補助金190万8000円）
- (2) 総合運動公園レストハウス改修工事設計業務（6月3日契約）
・ 契約額 191万4000円（国補助金95万7000円）

2 整備スケジュール

- (1) 総合運動公園ボルダリング施設新築工事
・ 8月入札 9月議会上程
- (2) 総合運動公園レストハウス改修工事
・ 令和4年度以降予定



2025年
滋賀国スポの
ボルダリング
開催地だよ



総合運動公園施設整備の箇所（予定）

教育民生常任委員会



竜王町立認定こども園条例・竜王町国民健康保険診療所条例

(1) 竜王町立認定こども園条例について

主な質疑応答

- 問** 認定こども園では開園時間が長くなる。職員体制や人員は規則で定めるのか。
- 答** 現在の幼稚園条例や規則には定数の定めはなく、竜王町職員定数条例で定めている。2園の職員が一つに集まることから早出、遅出出勤等の対応は必要となるが、現在の職員数で対応できると考えている。

意見

令和4年4月1日開園の認定こども園への移行について、入園される園児と保護者への周知と理解のもと、円滑に移行できるよう一層の準備と対応を求める。

(2) 竜王町国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例について

意見

多目的室の使用については、町の施設であることから特定の地域に偏ることなく、医療機関の中にあることを十分に考慮し、より効果的な利活用並びに貸館対応を望む。

教育民生常任委員会



新型コロナウイルス感染症にかかる対応について

竜王町ワクチン接種のスケジュールは？ ※ 7月15日時点の予定であり、変更になる可能性があります。

対象：12歳以上の竜王町住民

	7月	8月	9月
集団接種	1回目接種日：～9/8(水) まで		
於：竜王町公民館	2回目接種日：～9/29(水) まで		
集中接種 (日曜日)	【1クール目】 1回目：7/18、2回目8/8 【2クール目】 1回目：8/22、2回目9/12		
於：竜王町公民館			
個別接種	令和4年2月まで実施予定		
於：町内医療機関			
新型コロナワクチン接種の実施期間：令和4年2月28日まで 接種できなかった方が接種できるよう、接種機会の確保は行っていく予定です。			

主な質疑応答

問 町内医療機関で個別接種が始まるが、1瓶で6人分のワクチンが無駄になることはないのか。

答 医療機関と調整し、6の倍数で予約受付をしていただき端数がでないようにしている。

地域活性化特別委員会



中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について

中心核整備のスケジュールは？ ※ 6月15日調査時点

年度	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)	R12年度 (2030)	R13年度 (2031)	R14年度 (2032)	R15年度 (2033)
ゾーン														
交流・文教ゾーン	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
新竜王小学校				着工→完成	開校									
こども園							着工→完成	開園						
学童保育所							着工→完成	開所						
給食センター										着工→完成	竣工			
居住ゾーン					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
複合ゾーン							■	■	■	■	■	■	■	■

町政 ここを問う!

6月定例会では11議員が
17問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
8	鎌田勝治議員	・地域コミュニティの活性化は
	貴多正幸議員	・竜王町職員定数等の考え方は
9	磯部俊男議員	・新型コロナワクチン接種に係る対応は
	大前セツ子議員	・AEDの活用推進は
10	中村匡希議員	・鏡山頂上付近の景観整備を ・町総合運動公園の体系的な利用区分・料金整備を
11	福田優三議員	・惣四郎川の護岸改修と雑木撤去等の対策は
	森島芳男議員	・公共施設等のマネジメントの取組について
12	澤田満夫議員	・通学路の設定と点検および課題について ・滋賀竜王工業団地北側の保安林活用検討の進捗について
13	尾川幸左衛門議員	・薬師小口間の歩道整備は ・耐震計画について
14	橘せつ子議員	・竜王町コンパクトシティ化構想の住民への説明は ・新型コロナウイルス感染症拡大対策の拡充は ・コロナ禍での女性支援対策として生理用品の無償提供を ※ ・防災対策の指定避難場所のあり方について ※
15	岡山富男議員	・新たな定住のための住まい補助の制限は

※紙面の都合上、掲載しておりません。
QRコードから、全ての質問がお聴きいただけます。

次回の一般質問は
令和3年9月24日(金)予定

議員の質問順は町ホームページでご確認ください。

問 議会事務局 電話 0748-58-3713

今回から
各議員のQRコードを
スマートフォンで読み
取ると音声配信が聴けるよ



近江うし丸

問 地域コミュニティの活性化は

答 重点施策プロジェクトとして取組む



鎌田 勝治 議員



清流会善光寺川河川愛護活動の様子

問 高齢化と人口減少がますます加速する今後を考えると、中長期的に取組まねばならない各地域の課題の可視化とその対応は急務である。そこを踏まえて次の点について町の見解を伺う。

①各地域の課題を可視化する具体的な方法は。

②可視化された課題を地域住民と共有する具体的な方法は。

③第六次竜王町総合計画には、持続可能な地域コミュニティの推進の取組内容として、新たな組織とそ

の拠点を検討するとあるが、その具体的な検討内容とその為に先ずはどんな仕込みを行うのか。

答

①自治会へのアンケート調査や地域ヒアリングの結果を基に各地域の課題を整理し可視化する。

②可視化した地域ごとの課題への対応方法を方針（案）としてまとめ、庁内での意思統一を図る。また、自治会役員経験者や地域で主体的に活動している方々と議論を重ね各自治会に合わせた方法で進める。

③将来的に、地域自治活動をけん引頂ける方々に新たな自治組織の立ち上げ準備や設立に関わって頂き、竜王町にとってふさわしく、持続できる地域コミュニティが確立できるよう、町民の理解や参画も得ながら、丁寧に進めて参りたい。

問 竜王町職員定数等の考え方は

答 行政需要や財政状況を勘案しつつ職員の確保に努める



貴多 正幸 議員



答 現在は職員定数より8人少ない状況だが、行政需要を踏まえた職員の増員を計画している。しかしながら、特に専門職の退職にかかる職員採用試験は受験者が少なく、行政需要からすると職員数は不足していると考えられる。このことから、職員採用にあたっては、募集

問 竜王町職員定数条例では、職員の定数は154名と定められているが、令和3年4月1日現在の職員数は146名、会計年度任用職員数は139名となっている。

今後の人員計画について所見を伺う。

の年齢幅を広くして社会人経験者の採用や採用試験の回数を増やして行うなど職員数の確保に工夫をしている。会計年度任用職員と正規職員の人数が変わらない状態となっているが、毎年、各課ヒアリングを実施する中で各所管のニーズを把握し、配置計画を作成し雇用している。今後も行政需要や財政状況等を勘案しつつ職員定数の範囲内で職員確保に努める。会計年度任用職員についても、各年の事務事業量と各課ニーズに鑑みながら適正に配置し、行政需要に対応できる体制づくりを行っていく。



様々な行政サービスを提供する住民課

問 新型コロナワクチン接種に係る対応は



磯部 俊男 議員

答 町内医療機関の協力を得て迅速に行う

問 高齢者の対象者約3500人のワクチン接種者数、接種申込み予約状況を伺う。
またワクチン接種に伴う副反応は。
ワクチン接種対応に係る課題とワクチン接種率向上対策ならびに今後の未接種者への働きかけは。

答 6月16日現在、クーポン発送高齢者数3531人。1回目接種2408人68.2%。2回目終了1146人10.8%である。
現在のところ、公民館

会場での重篤な副反応やアナフィラキシーショックはない。
接種に係る課題は(1)計画に基づくワクチンの確保(2)予診、接種を担う医療従事者の確保(3)接種希望者が接種できる機会の確保である。
接種率向上対策は、町内医療機関の協力を得て往診時での接種や高齢者、障がい者の居宅サービス事業所への巡回診療時の接種をお願いしている。
接種予約をされている高齢者を対象に勧奨のハガキを送付し、予約率向上に努めている。



ワクチン接種の様子

問 AEDの活用推進は

答 町ホームページ等で周知をはかる



大前 セツ子 議員



問 AEDは平成16年7月より救命現場に居合わせた方による使用が認められ普及が進んでいる。
日本人の死因の一位は悪性新生物(がん)、二位は心疾患であり、その内心臓突然死の8割は心室細動であり令和元年版防災白書では、AEDの使用を始め迅速な救命救急が欠かせないとある。
現在の竜王町のAED設置場所、設置状況および町民への周知方法は。

答 平成25年9月にAEDの適正配置に関するガイドラインが厚生労働省により公表され、国内において普及拡大が進められてきた。
町内の設置状況は、幼稚園、小中学校、公民館、図書館、ドラゴンハットなど21施設、自治会は7施設に設置されている。民間施設では全国AEDマップによると17ヶ所が登録されている。公共施設の場所は、今後町のホームページ等で周知し、民間施設等は全国AEDマップへの登録を呼びかけていく。



AED講習の様子



中村 匡希 議員



問 鏡山頂上付近の景観整備を

答 景観を楽しんで頂けるよう取組む



生い茂った樹木が景観をさえぎる展望台周辺

問

鏡山頂上付近はかつて町内でも随一の展望スポットであったが、現在は立木により眺望は阻まれ、展望台は老朽化により立入禁止となっている。

①展望台周辺の景観整備の課題は。

②景観確保の今後の取組は。

③老朽化した展望台の今後は。

①頂上付近は国有林かつ保安林であり、伐採に

国との調整が必要である。伐採自体は可能だが立木補償を行わなければならない。

②今後は現地踏査を行い、伐採の面積や費用の課題整理を進める。

③老朽化した展望台は頂上付近の景観整備の目処が立った時点で、修繕に向けて検討する。鏡山を訪れる方々に安心して使用し景観が楽しんで頂けるよう、安全に配慮しながら取組を進めていく。

問

町総合運動公園の体系的な利用区分・料金整備を

答

利用者や競技団体の声をもとに必要な協議を行う

問

同公園の料金・利用者区分にはばらつきが見られる。例えば、障がい者の介護者の減免がある施設とそうでない施設がある。また町外料金の設定が1.5倍と2倍の二通りがある。今年度のボルダリング施設の新設の条例改正に併せ、未来志向で整備をするべきだ。

答

障がい者の介護者の減免はプール・採暖室で設定しており、直接水中に入るため安心して利用できるようにしている。

町外料金設定は施設により異なるが、大事なものは多くの町民の方に利用頂き、町外の方にも町の魅力を発信し、町内外の方が交流できる施設にふ



ボルダリング施設の建設予定地（写真中央）

さわしい設定である。長年の経過を踏まえ、現状の検証や施設ごとに利用者や競技団体のご意見を頂きながら、必要な協議を行いたい。



福田 優三 議員



問 惣四郎川の護岸改修と雑木撤去等の対策は

答 引続き県に要望していく



田中地先惣四郎川

問 田中地先の名神高速道路沿いを流れる惣四郎川は、河川改修から60年近く経ち、護岸のブロックの隙間から雑木が生え、場所によっては膨張している危険箇所も所々見受けられる。

答 惣四郎川の護岸の状況については滋賀県東近江土木事務所において特に損傷が著しい箇所について修繕が行われている。雑木が繁茂する箇所など地域での対応が困難な場合は県において除去等の対応をした。

いつごろのように考えているのか伺う。

問 公共施設等のマネジメントの取組について

答 利便性を考慮しつつ、公共施設の適性管理に努める



森島 芳男 議員



問 平成29年3月の竜王町公共施設等総合管理計画に「限られた財源の中で、どのように公共施設等を維持管理し続けられるか検討を行なってきた。施設の方向性を決定していく必要があることから、現状を考慮し目標値を改訂した10年間で延床面積の2%程度縮減（平成26年度比）」と記載されているが現在の進捗状況について伺う。

答 計画策定後、旧青年団事務所と景観保全施設の合計265.5㎡が除却した施設である。令和2年度末までに、防災拠



山之上地先の診療所

点施設等で延床面積の合計1038.69㎡の増築を行い、総延床面積61,694.02㎡と増減率約1.27%の増となり、現時点では縮減目標は達成していない。

今後、行政需要に基づく施設の整備が進められ、保有する施設は増加することが見込まれる。このため、総合管理計画の見直しと、より一層の計画の進捗を図る必要があると考える。施設サービスを利用されている方々の利便性等への影響を考慮しつつ、長寿命化が可能な施設は長寿命化を施し、公共施設の適正管理に努める。

問 通学路の設定と点検および課題について

答 安全対策・教育を教育委員会と学校の連携で対応する



澤田 満夫 議員

問 小中学校の徒歩および自転車通学路に対する設定のプロセスと考え方、点検の実施方法、現在の課題について伺う。

答 設定については、地区字委員と学校で経路を決定し、更に教育委員会において交通安全・防犯・防災等の視点から現場確認等を経て適切か判断し認定している。

点検は、PTAや自治会からの改善要望を基に、警察署や交通アドバイザー

ザイ等関係者合同で毎年2回実施している。課題は、できる限り安全な経路を認定しているが、全ての道路に歩道や信号等が完備されていないのが現状であり、又、安全確保には児童生徒自身の交通安全意識と行動管理が極めて重要であると認識している。これらにに対し、発達段階に応じた安全教育に、教育委員会と学校が一層連携強化を図り、対応していきたいと考えている。



児童・生徒の通学の風景

問 滋賀竜王工業団地北側の保安林活用検討の進捗について

答 研究会を通じて県に働きかけを継続する

問 令和元年第4回定例会の一般質問で同工業団地の北側の保安林の活用を促したが進捗は。

答 先の一般質問以後、県と滋賀県土地開発公社との間で利活用検討のため立ち上げた研究会で、保安林解除の場合は学校など教育施設、保安林解除が不要な場合は自然を活かした案が出た。又、議論の過程で「滋賀県庁県有資産活用のひろば」に該当地がエントリーされ、複数の民間企業から保安林解除が出来る場合は産業用地、出来ない場合は散策路・キャンプ場等の集客が見込める施設を整備し複合的な機能を持たせた利活用が望まし

いと意見貰った。今後、研究会では短期的には保安林のままで、中長期的には保安林解除の見通しが立つ公益施設の誘致や国家的な施策と合致



滋賀竜王工業団地に隣接する保安林

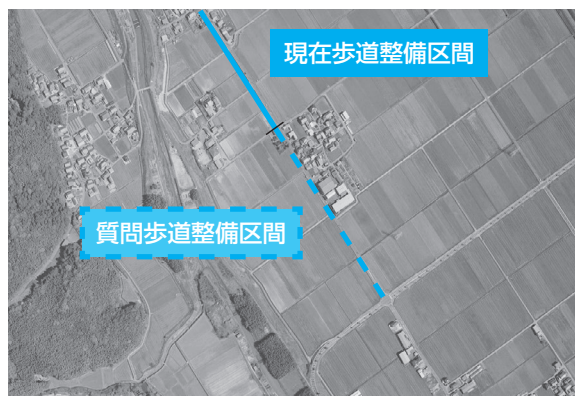
する施設等の利活用を模索していくとしている。町としては研究会を通じて更に県に働きかけを継続していく。

問 薬師小口間の歩道整備は

答 道路の安全を確保できるよう、
県に働きかけを行っていく



尾川 幸左衛門 議員



出典：国土地理院発行2.5万分1地形図

問 現在、薬師地区の小学生は、集落内道路、農道および町道東西線を経て竜王小学校に通学している。令和2年、3年度で県道春日竜王線の沖から早溝までの区間、歩道拡幅の工事が進められている。残りの県道春日線小口交差点付近までの歩道整備が進めば、こちらも安全な通学路になると考えるが、今後の歩道整備の計画について伺う。

答 薬師地先の沖と早溝の間の歩道拡幅については、地元自治会から要望され、町としても、滋賀県公安委員会、東近江土木事務所等と通学路の合同点検を再三行い、拡幅の必要性を訴え要望を行ってきた。この結果、拡幅工事を進めていただき今年度8月には完了すると聞いている。町としては、課題はあると認識しており、地域と足並みを揃えながら当該道路の安全を確保できるよう、県に対し働きかけを行っていく。

問 耐震計画について

答 啓発方法の見直しを行い、
耐震改修が促進できるように努める

問 東南海地震は、今後30年以内に18%の確率で発生すると言われている。本町では、竜王町建築物耐震改修促進計画を平成28年3月に策定されているが進捗状況と見直しについて伺う。

答 本町の現在の耐震化率は、町が所有する建築物は、除去予定も含め82.4%で、住宅が推計63.7%である。計画の見直しについては、昨年度に滋賀県が修正し、本町においても見直しのタスキングであると考えている。また、既存建築物に対する耐震補強の進捗は、はかどっていない状況であり所有者の意識が重要になる。計画の見直しにおいては、啓発方法



倒壊寸前の家屋（イメージ図）

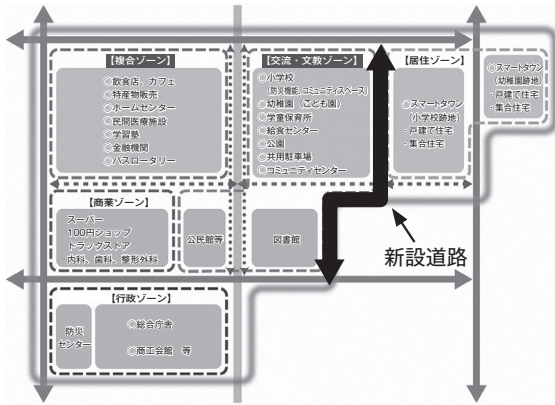
を含め、今後予想される地震災害に対して、耐震診断とその結果に基づく耐震改修が促進できるように努める。

問 竜王町コンパクトシティ化構想の住民への説明は



橘 せつ子 議員

答 感染症の収束状況を見て検討する



コンパクトシティ化構想の全体図

その後は起債を活用し、一般財源を約10%に抑え関係基金を充当していく予定。中期の財政計画は今後、施設ごとの基本計画、基本設計を進め、精査したうえで策定する。

問 交流・文教ゾーンの整備は今年度に竜王小学校の基本計画、造成工事や道路・上水道等の基本設計を策定する予定と聞く。そこで次の点を伺う。

①計画を進めるに当たり、今一度各自治会への説明等、町民への丁寧な説明が必要と思うが、町の考えは。

②中期の財政計画はいつ策定される予定か。財政計画を示し、学童保育所や認定こども園、給食セ

答

①地元や土地所有者との調整が整い次第、広報紙やホームページを通じて整備イメージやスケジュール等を公表する予定。自治会等への説明も感染症の収束状況を見つつ、第六次竜王町総合計画周知のタイミング等に合わせ検討する。

②概算で全体費用の約25%を国県補助金で、その後は起債を活用し、一般財源を約10%に抑え関係基金を充当していく予定。中期の財政計画は今後、施設ごとの基本計画、基本設計を進め、精査したうえで策定する。

ンターの建設費用等も明らかにするべきでは。

問 新型コロナウイルス感染症拡大対策の拡充は

答 現時点で定期的な検査の実施予定はない

問 新型コロナウイルス感染症は変異株も増え、近隣市町では学校や施設でクラスターも発生していると聞く。竜王町でも感染予防として社会的検査が必要と考える。次の点を伺う。

①学校、保育・児童関連施設、障がい者施設や介護施設等では職員への定期的なPCR検査や抗原検査等が必要と思うが、町の考えは。

②施設でクラスターが発生した時、保健所での検査対象とならない場合も、検査を希望する方は受けることが出来るよう町の支援が必要では。

答

①町内で検査体制を整備することは難しく、現時点で定期的な検査を実施する予定はしていない。

②保健所は感染者の行動歴等の積極的疫学調査や接触状況調査等を行

い、専門的な基準で対象者を決定されていることから、適切な方にPCR検査が実施されていると考えている。またワクチン接種により感染拡大を一定予防できると考えている。



PCR検査（イメージ図）



岡山 富男 議員



問 新たな定住のための住まい補助の制限は

答 一定の要件において年齢制限を設けない



整備が必要な空き家

問 若者定住のための住まい補助金は、若者・婚姻

問 現在の補助金交付要綱では、補助対象者が40歳未満と年齢制限があり、例えば40歳以上の方が空き家を購入しリフォームをしても補助金の対象にはならない。

一人でも多くの方が竜王町に住みたいと思われよう、年齢制限を撤廃してはどうかと考えるが町の考えを伺う。

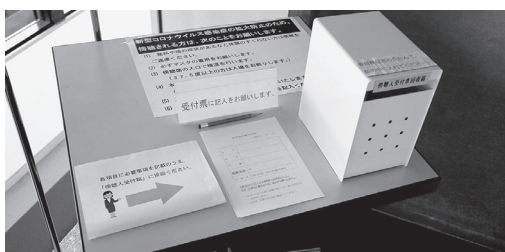
姻・子育て世代にターゲットを絞り、家賃を含めた「住まい」を切り口にして、転出防止・転入促進を図るため、以前の「新築リフォーム補助」を更にした制度である。年齢制限について、原則40歳以上の方は対象にならないが、40歳以上で18歳以下の子どもを子育て中の方や、婚姻された方は補助の対象としている。今後はさらにより良い制度としていけるよう検討していきたい。

ぼうちょう 議会の傍聴に来ませんか？

議会では、住民生活に密着した重要な問題が審議されています。簡単な手続きで傍聴することができますので、新型コロナウイルス感染症予防対策に努めていただき、ぜひお越しください。
(介助が必要な方は議会事務局へお声掛けください。)



議会傍聴席（役場庁舎3階）



入口にて受付票に氏名等を記入いただきます

新型コロナウイルス感染症対策として…

アルコール消毒液による手指の消毒、検温、ソーシャルディスタンス確保のため、傍聴席数を減らしています。



議会ではどんな政策が審議されているの？

自分の選んだ議員はどんな活動をしているの？

次の一般質問は

令和3年9月24日(金)

午前9時からの予定

議員の質問順は町ホームページでご確認ください。

問 議会事務局 電話 0748-58-3713

シリーズ

私たちがONE TEAM

No.07

男子バレーボールチーム
近江ガッツ

大切な仲間とともに

中学校の部活動といえば、野球、テニス、バスケットボールなどを思い浮かべるとと思います。その中でも、バレーボールといえば当たり前のようにありました。しかし最近ではどこの中学校にでも当たり前前のようにあるというわけではないようです。

竜王中学校においても同様に男子バレーボール部がありません。スポーツ少年団でバレーボールを続けていても中学校に上がり部活が無く続けられなくなる・・・そんな子どもたちを救おうとスポーツ少年団のコーチたちが知恵を出し合い立ち上げてくれたクラブチームが「近江ガッツ」です。

現在「近江ガッツ」では、竜王中学校に在籍している古株響さん、川部晃生さん、福田楓唯さんを含め、東近江市、彦根市、守山市、野洲市の中学生が21名で活動を行っています。練習



あびる 阿比留コーチ・川部くん・福田くん・古株くん・ひまで 足出監督

は東近江市を拠点に週2～3回程度、夜に行っており、週末には県内の高校まで練習試合に出かけたりすることもある。

高校に進学し、彼らがまたバレーボールを続け、県の内外を問わず全国で活躍することを期待したいと思います。



6月17日(木)に竜王西小学校3年生が竜王町議会の議場見学に訪れました。子ども達は普段入れない場所に興味津々で、議長や質問席などに座りとても楽しそうにしていました。議長が「町民の代表がまちづくりや予算などを決める大切な場所です。」と説明すると、熱心にメモを取る姿が見られました。また、質問席に立ち「今後の竜王町は」と訴えているような姿にも見え、未来を担う子ども達の成長が楽しみになりました。

西小3年生議場見学

表紙

編集後記

夏も残暑に差し掛かり、オリンピックも終盤となりました。町内ではワクチン接種が進み、日常を取り戻すための取り組みが続けられています。議会でも取り上げられる議題も新型コロナ対策が中心となったこの一年有半ですが、議員一同それに並行し町内各所の課題解決に取り組んでいます。

また本年より、YouTubeを活用した議会のインターネット中継がスタートしました。まだまだ有線放送のほうが便利だったという声も聞きます。ボタン一つで聞けた時代から、かえって今は情報にたどりつくまでの手間を要する時代になったと感じます。それでも議論されていることを、インターネットを上手く活用し、町民の皆様にお伝えしていきたいと思っています。

(中村記)

議会広報特別委員会

委員長 中村 匡希
副委員長 大前セツ子
委員 福田 優三
委員 橘 せつ子
委員 岡山 富男
委員 小西 久次